

あなたの宅地の石積は大丈夫ですか？

簡単に石積のチェックができますよ。



この2枚の写真は、近年の豪雨による石積の崩壊です。
2カ所に共通していることは、

- ①「石積が老朽化していること」
- ②「空石積であること」
- ③「水抜き穴（パイプ）が無い」等です。

この石積が崩壊した原因として考えられるのは、
宅地の土砂は、その内部摩擦による抵抗と粘着力により崩壊しようとする力に抵抗しているのですが、多量の雨水が浸透することによって飽和状態になるため粘着力が殆どなくなります。これにより宅地の土砂が崩壊すると共に石積が崩壊したと考えられます。

このような状態を作った元々の原因が、上記の①、②、③と考えられます。

石積が崩壊した場合、重機やトラックが使用できるかで変わってきますが、百万円台の復旧費用がかかります。

さらに、崩壊カ所の現状を見てみると、隣接家屋への被害も発生しています。被害者の方の中には復旧までの間、避難が必要となることもあり、家も含めた被害者への補償費が別途必要になると思われます。

また、崩壊状態によっては、復旧工事のためにあなたの家の解体が必要となることもあり、千万円単位の費用が必要になると思われます。

このため、現在の石積の補修や補強などの減災対策が重要と思われますが、まずは、今の石積の状況をご自分でチェックしてみましょう。

では、あなたの宅地の石積の状態をチェックしてみましょう。

インターネットを利用できる方は、北九州市のホームページから「宅地防災のポイント」で検索してみてください。まず、あなたの宅地の擁壁が危険な擁壁の形式かどうか確認してください。次に、擁壁チェックシートで石積の状態を確認してください。

インターネットを利用できない方は、各区役所又は出張所等にチェックシートを備えていますので、ご利用ください。

結果について不安な場合や疑問を感じた時は、開発指導課までご連絡ください。

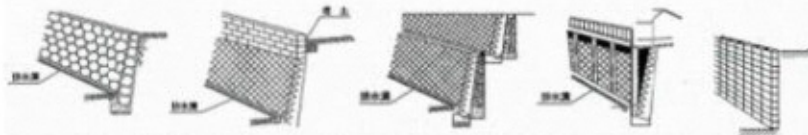
連絡先 北九州市建築都市局開発指導課 電話582-2644

ホームページの「宅地防災のポイント」画面

宅地防災のポイント

あなたの家の擁壁は大丈夫でしょうか？(危険な擁壁)

あなたの宅地の擁壁は以下の形式に含まれていませんか？
もし、これらが含まれていれば、従来、宅地の擁壁として適さないものです。
現在、変状がない場合でも構造上の問題について専門家に相談しましょう。
さらに、変状が見られる場合は、非常に危険な状態ですので早急な対応が必要です。

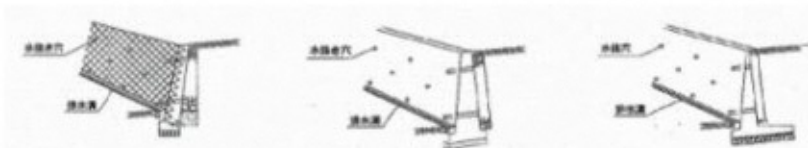


1. 空石積み擁壁
2. 増し積み擁壁
3. 2段擁壁
4. 張出し床板付擁壁
5. 空洞ブロック積み擁壁

まず、あなたの宅地の擁壁の形式を確認しましょう。


あなたにもできる擁壁のチェック

チェックの対象となるのは、以下の種類の擁壁(高さ1m以上)です。



1. 練石積みコンクリートブロック擁壁
2. 重力式コンクリート擁壁
3. 鉄筋コンクリートL型擁壁

チェックシートはこちらからダウンロードしてください。

 [擁壁チェックシート\(PDF形式:508KB\)](#)

擁壁のチェックシートはこちらから。